

令和三年 丑年

謹賀 新年

年頭のご挨拶



上士幌町議会議長

杉山 幸昭



上士幌町長

竹中 貢

新年あけましておめでどうございます。
町民の皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるい、社会経済が大きな打撃を受け、わたしたちの生活様式も一変した現代社会の転換期となる激動の年でありました。今なお感染拡大が続いているなか、最前線の現場で日々懸命に努力されている医療従事者の皆様をはじめ、社会基盤を支える全ての皆様に、心より感謝を表します。

コロナ禍の影響により、町の一大イベントであります北海道バルーンフェスティバルをはじめ、多くの行事が開催中止となった一方で、待望の「道の駅」がオープンし、新たな防災拠点となる消防庁舎の建設も進んでおります。また、コロナ禍で大きな影響を受けている商業・宿泊業・飲食業への経済対策や、医療・介護・予防など、町民の健康や暮らしを守るための感染症対策事業を、スピード感をもって実施してまいります。

地域内の移動手段を効率的に行うための公共交通計画を策定中であり、高度情報通信技

町民の皆様、新年明けましておめでどうございます。

令和3年の年頭にあたり、上士幌町議会議長として謹んで新春のご挨拶を申し上げます。併せて、町議会への日頃のご理解とご協力に對しお礼申し上げます。

ここで、新年を祝うご挨拶ではありませんが、昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大と、これに伴う人間社会の未曾有の経験により、亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げるとともに、今なおこの感染症と闘っておられる方々にお見舞いを申し上げます。また医療や福祉に携わられている方々をはじめ、日々社会基盤を支えてくださっている皆様に深く感謝の意を申し上げます。

さて、今日の社会は、「デジタル革新」と呼ばれる大きな変革の中にあると言われております。

さまざまな情報がデジタル化され、データとして蓄積され続け、その膨大な情報は人工知能技術などを駆使しながら解析することで、現代社会が抱える地方と都市の間の格差や、年齢や障がいに関わる格差など、さまざまな問題の解決に役立つと言われております。

術を用いた予約制の高齢者福祉バス実証実験やアンケート調査などを実施しており、公共交通の利便性向上を図ってまいります。

昨年行われた国勢調査の人口数値は集計中であり、住民基本台帳数値から人口減少を抑制できているものと考えております。基幹産業の一つである農業が、堅調な生産活動を行っていることを始め、多くの町民の皆様が頑張りによるものだと考えております。また、ふるさと納税はまちづくりにも広く活用しており、寄附を頂いた皆様との縁を深め、更に魅力的な町を目指してまいります。

本年は「第5期上士幌町総合計画（10ヶ年）の最終年であり、ことから、検証を行うとともに、令和4年度からスタートする「第6期上士幌町総合計画」の策定に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の終息も未だ見えない情勢ではありますが、本年も町民の皆様と共に歩み、安心・安全に暮らすことのできるまち、誇りを持てる「北の元氣まち」を目指し、職員一同全力で取り組んでまいりますので、皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、ご健康、ご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

これが、Society 5.0（ソサエティ5.0）と呼ばれる社会で、新しい生活スタイル、新しい情報化社会に向かう時、私たち本町議会もコロナ禍を経て、安心して暮らせる町とはどうあるべきかを、政策論議を通して町民の皆様と共に考え、共に行動していく所存であります。

昨年は、コロナ禍により町民との意見交換会を中止することになったことから、「議会に関するアンケート」を実施させていただきました。皆様の率直な意見を聞かせていただきました。

これも議会活動が、町民にとってより身近なものとなる新しい議会運営を模索したいとの思いから行ったものであり、ご協力を頂いた皆様には、この場をお借りしてお礼と感謝を申し上げます。

本町議会も、4年の任期の半分を折り返しとなりますが、今後も、皆様の声が町政に反映されるよう、議会活動に精進する所存でございますので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後となりましたが、町民の皆様にとりまして健康で実り多い良い年になりますよう、ご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。